



VIVチャイナに初出展したハイテムのブース

## ハイテム VIVチャイナに初出展 ハイテム直立ベルトケージを紹介

（株）ハイテム（安田勝彦社長）本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10）は、中国の鶏卵先進最大手の徳青源（本社・北京）の新農場直立ベルト・チャイナ」に初出展

トケージシステム納入なし。との実績を背景に、9月23日から3日間、中国・北京市で開催された『VIV CHINA（ビブ・チャイナ）』に初出展した。

展示の中心は、ハイテム直立ベルトケージの特長である破卵を極限まで抑えたケージや、集卵機、クリーンでトラブルフリーの除糞機、省エネ

養乾システム『エコフリース』『セコノフ』など。中国語のナレーションと映像で紹介し、同社レイヤー設備の基本コンセプトである20年間設備使用中の破卵率、養乾電気代ほかの僅かな差の累積が、当初の羽当たり設備コストを上回る可能性があるオートメ養鶏の第2の利益を説明、設備投資を控えた生産者の関心を呼んだ。

ハイテムでは、日本での養鶏設備事業を中核とし、中国では防疫管理の徹底した先進大手を中心に、10%のシェア（量的には日本の100%に相当）を目標にして、同社天津工場の安定稼働を目指したいとしている。